

## 第5回刈羽村景気ウォッチャー調査 概況

1. 調査日 令和5年10月31日
2. 調査対象  
対象事業所数 151事業所 (商工会法定会員)  
回答事業所 100事業所 (回答率: 66.2%)
3. 調査対象時点 令和5年4月～令和5年9月期を対象とした。
4. 調査方法 刈羽村と共同で実施し、商工会で調査票を対象事業所に配布し、令和5年11月15日までにFAX等により回答いただいた。調査集計は刈羽村産業政策課で行った。

### 5. 概要

調査期間内において、総じて、新型コロナウイルス感染症については5月に感染症分類が5類に移行したことにより収束したことが影響し、売上に関しては業種を問わず大幅な改善傾向が強まりました。加えて、営業利益は直近でやや改善傾向が見受けられていますが、原材料価格高騰に伴う物価高の影響から業種により見通しに暗さがあります。一方、経営課題、悩み事の調査項目では、「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材の高騰」「人手不足」と回答する事業者が最も多くなっており、この上位3項目は調査開始以来、固定化しています。

#### (1) 売上高

直近6ヶ月の合計売上高については、回答事業所の約61.0%が前年同期に比べて「増加した」と回答しており、前回調査(約50.0%)よりも11ポイント改善しています。一方、今後6ヶ月の売上見通しについては約50.0%が増加すると回答しており、前回調査(約50.0%)と同数ではありますが、改善傾向は、業種を問わず広がっています。

#### (2) 営業利益

営業利益は、直近6ヶ月と前年同期との比較については回答事業所の約26.0%が「増加した」と回答しており、前回調査(約22.0%)に比べて増えています。また、今後の見通しについては、回答事業所の約22.0%が増加

すると回答しており、前回調査と同数で横ばいという状況となっています。一方で、直近 6 ヶ月と前年同期との比較においては、依然として「減少する」「かなり減少する」と回答している事業所が約 38.0%と「増加する」と回答した事業所を上回っており、暗さの拭えない結果となっています。

### (3) 設備投資

設備投資については、実施した事業者が約 47.0%と前回調査(約 37.0%)に比べて大幅に増加しており、積極的な動きが見られます。多くは、1,000 万円以下の設備投資となっていますが、1,000 万円以上の高額投資についても約 10%見受けられます。一方、今後の見通しでは約 41%が設備投資を予定しており、積極的な状況が続く見込みです。

### (4) 経営課題、悩み事

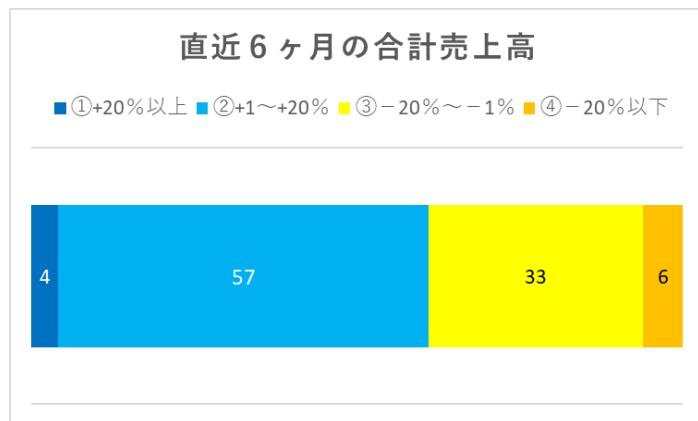
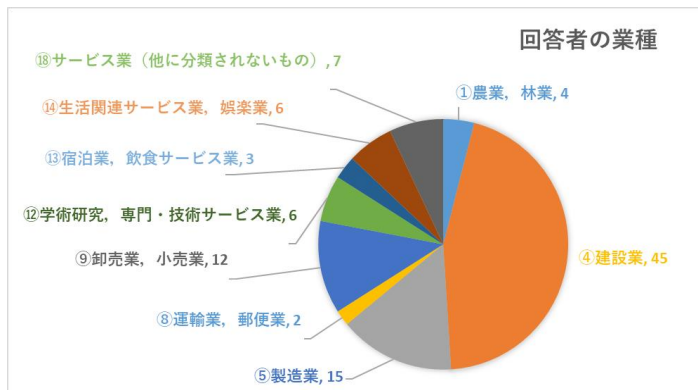
前回調査と同様の傾向で、経営上課題・悩み事の上位 3 項目には「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材、光熱費の高騰」「人手不足」が多く示されており、固定化しています。今期においては、「原材料、資材、光熱費の高騰」については約 22.8%と前回調査(約 20.1%)に比べて回答数が増加しており、連動して「売上高、営業利益の伸び悩み」の回答数が増加しています(今回約 23.2%、前回 20.1%)。このことは、原材料価格高騰に伴う物価高の影響によるコスト高が利益を圧迫している状況が現れていると考えられます。

一方、「原材料、資材、光熱費の高騰」と回答した事業所の内、どの位の上昇感が見受けられるかお聞きしたところ、原材料、光熱費共に高騰率は「+100%~+200%」が全体の約 78%以上を占めています。中には「+150%~+200%」との回答が 2 割程度あり、依然として業種を問わず今後注視が必要と考えます。

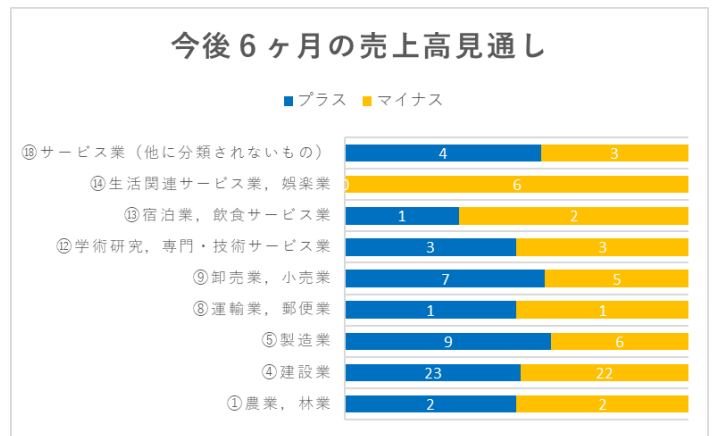
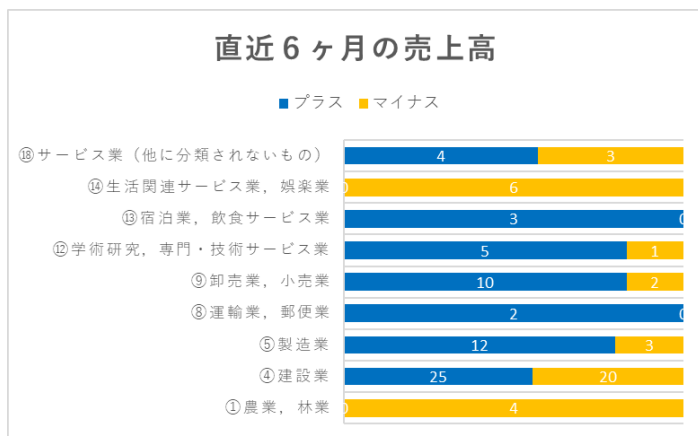
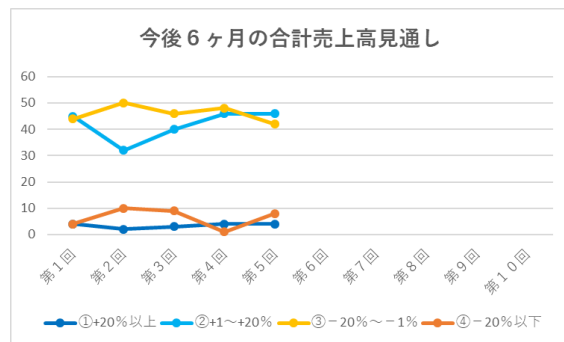
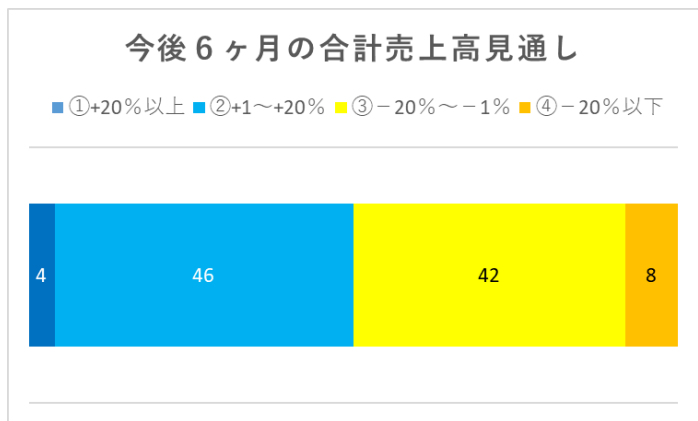
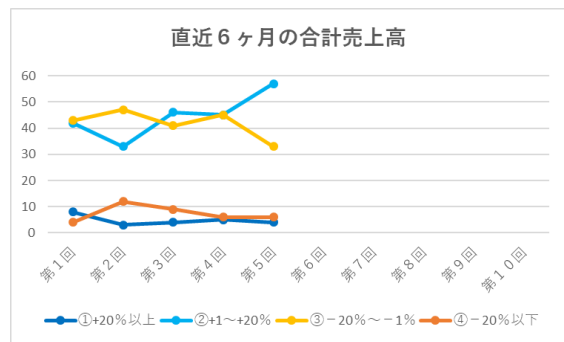
### (5) 消費税インボイス制度への対応、その他

消費税インボイス制度への登録については、約 89.0%の事業所で登録を行っており、管内事業ではほとんどの事業所で対応を行っています。一方で、業種的に生活関連サービス業(理美容業)での登録が遅れていますが、一般消費者を対象とした業種であるため、事業所間取引について関りが薄いことが影響していると考えられます。また、インボイス制度で困っていることは、「事務処理が複雑になる」との回答が約 47.7%最多となっています。「仕入先や取引先への対応」との回答も約 24.7%と少なくない件数の回答が示されています。

11月29日時点の回答率 66.2% (100件/151件) ※グラフの単位は全て件。



売上高は直近で大幅に改善、見通しではプラスマイナスが同数となった。改善傾向が続いている。生活関連サービス、娯楽と農、林は直近でマイナス、見通しにも暗さがある。



### 直近6カ月の営業利益

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない  
■④減少する ■⑤かなり減少する



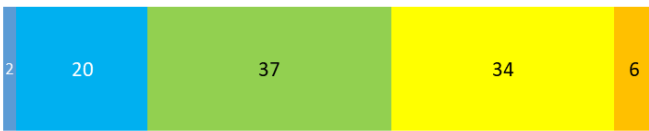
営業利益は直近でやや改善傾向が続く。

見通しは前回から横ばい。

直近では幅広い業種でプラスとなっているが、生活関連サービス、娯楽、運輸、郵便、建設では見通しにやや暗さがある。

### 今後6カ月の営業利益見通し

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない  
■④減少する ■⑤かなり減少する



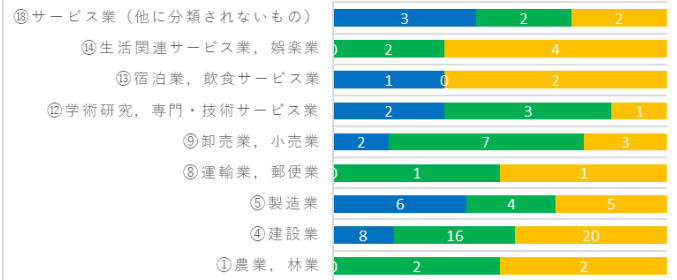
### 直近6ヶ月の営業利益

■プラス ■変化なし ■マイナス

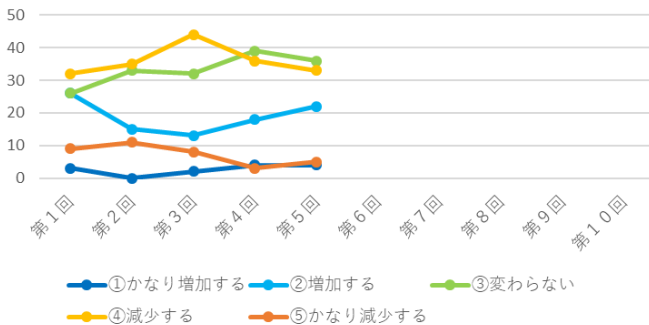


### 今後6ヶ月の営業利益見通し

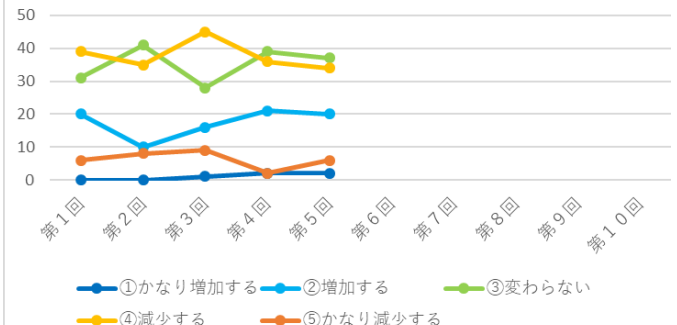
■プラス ■変化なし ■マイナス



### 直近6ヶ月の営業利益



### 今後6ヶ月の営業利益見通し



### 直近6カ月の設備投資

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上



直近では前回に続き実施無が減少。1,000万円以下の設備投資がそれぞれ増加。積極的な動きが見られる。  
サービス業全般で積極的な動きが見られる。  
今後はやや落ち着くものの、比較的積極的な傾向が続くとみられる。

### 今後6カ月の設備投資見通し

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上



### 直近6ヶ月の設備投資

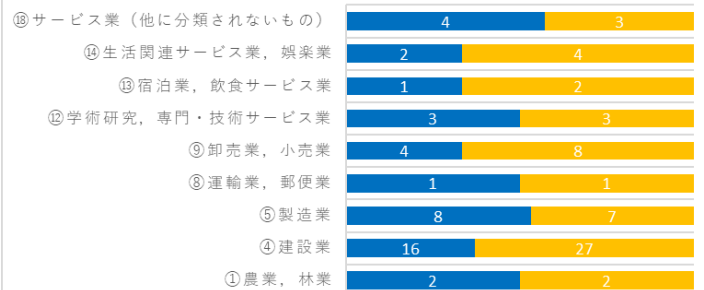
- あり
- なし



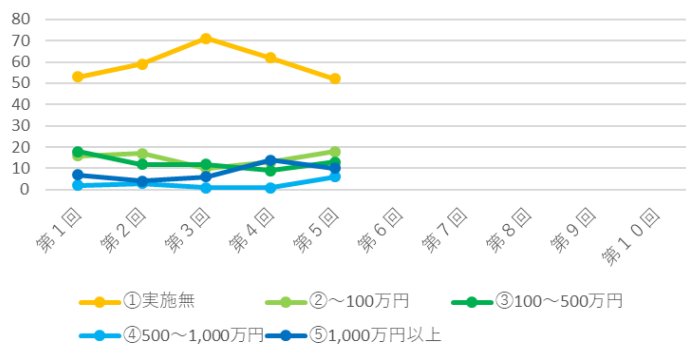
### 今後6ヶ月の設備投資見通し

- あり
- なし

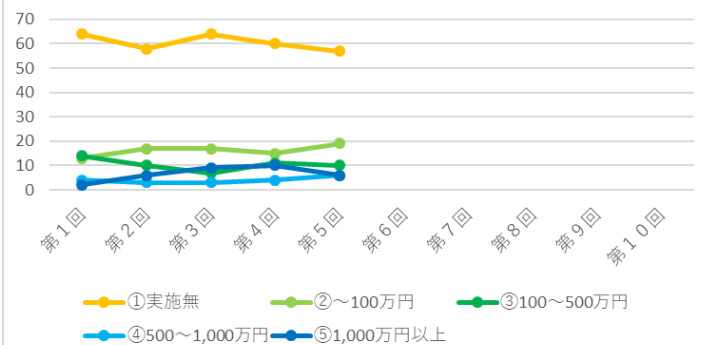
単位：件



### 直近6ヶ月の設備投資



### 今後6ヶ月の設備投資見通し





### 直近6か月の原材料（資材）の高騰率

■①+100%～+150% ■②+150%～+200% ■③+200%以上



### 直近6か月の光熱費の高騰率

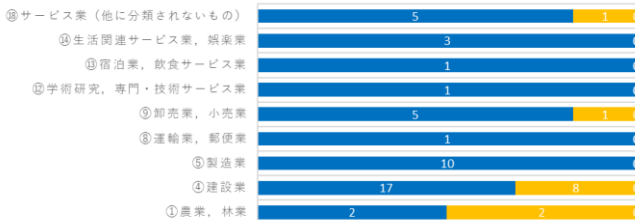
■①+100%～+150% ■②+150%～+200% ■③+200%以上



過去2回と同様に原材料（資材）、光熱費共に高騰率は+100%～+150%が最多。  
 +150%以上は微減し、やや落ち着いたか。  
 原材料（資材）、光熱費共に業種を問わず影響が広がる。  
 今後の見通しは高い（上がる）が平年並みを大きく上回る。低い（下がる）はゼロ。

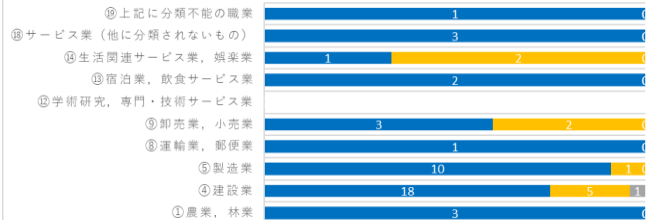
### 直近6か月の原材料（資材）の高騰率

■+100%～+150% ■+150%～+200% ■+200%以上

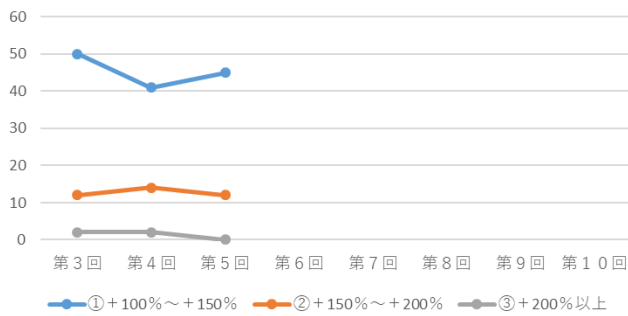


### 光熱費の高騰率

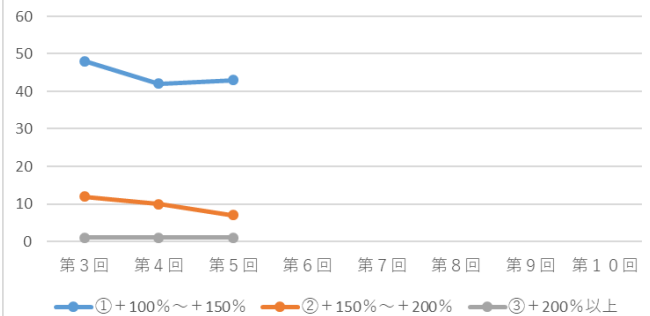
■+100%～+150% ■+150%～+200% ■+200%以上



### 直近6か月の原材料（資材）の高騰率



### 直近6か月の光熱費の高騰率



### 今後6か月の原材料（資材）の高騰率

■①高い（上がる） ■②平年並み ■③低い（下がる）



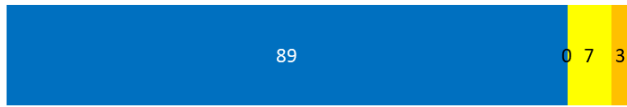
### 今後6か月の光熱費の高騰率

■①高い（上がる） ■②平年並み ■③低い（下がる）



### 適格請求書発行事業者の登録状況

- ①登録している
- ②登録する予定
- ③登録していない
- ④未定



適格請求書発行事業者の登録はほとんどの事業者で登録し、準備を行っている。  
生活関連サービス、娯楽で登録していない事業者が多い。理美容の個人事業主とみられる。

### インボイス制度対応の準備状況

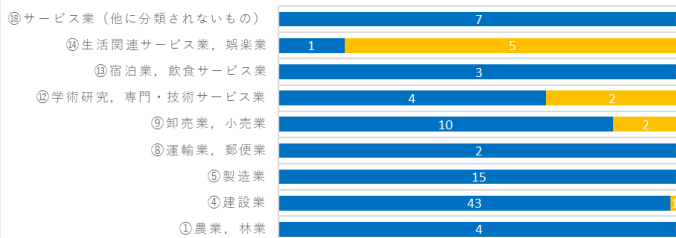
- ①準備出来ている
- ②準備を進めている
- ③全く準備出来ていない
- ④未定



インボイス制度対応で困っていることは事務処理が複雑になるが最多。  
インボイスに対応していない仕入先、取引先への対応も少なくない。  
今後どのような影響があるか、注視する必要がある。

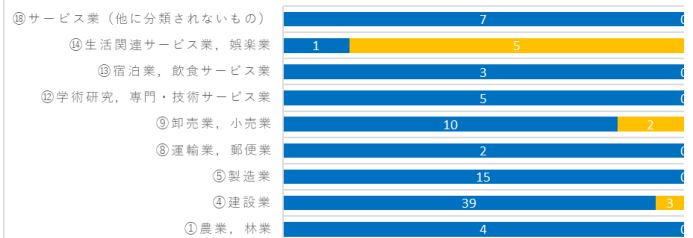
### 適格請求書発行事業者の登録状況

- ①登録する
- ②登録していない

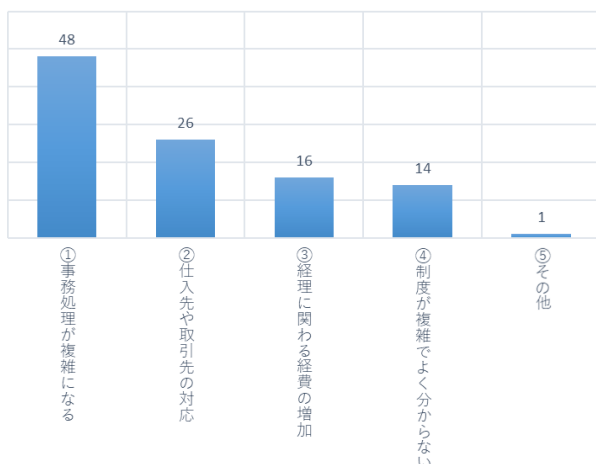


### インボイス制度対応の準備状況

- ①準備する
- ②準備していない



### インボイス制度対応で困っていること



### インボイス制度対応で困っていること

- ①事務処理が複雑になる
- ②仕入先や取引先の対応
- ③経理に関わる経費の増加
- ④制度が複雑でよく分からない
- ⑤その他

